

# 中間評価のスケジュール

作業項目		H28											H29				
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
H27 実施 状況 報告	活動組織⇒市町村⇒都道府県⇒国:5月末 熊本地震被災地 国:7月末		活動組織→市町村		熊本 活動組織→市町村												
			市町村→都道府県		熊本 市町村→都道府県												
H27 自己 評価 試行	活動組織⇒市町村⇒都道府県⇒国:8月19日		WG検討		依頼	活動組織聞き取り											
					市町村による評価	市町村→都道府県 報告											
都道府県	・第三者委員会による中間評価の実施																
	効果の評価、課題の整理																
	実施状況・自己評価の分析																
	事例調査、実態調査等の実施																
	市町村による活動組織の取組評価の整理																
	・中間評価の報告(⇒国へ報告:10月6日、1月31日)					依頼				報告書(案)提出				報告書提出			
中間 評価	・第三者委員会による中間評価の実施																
	効果の評価、事業の仕組みの評価、課題等の整理																
	実施状況・自己評価の分析																
	効果モデルの事例調査等の実施																
	活動組織の地域類型区分調査の実施																
	推進組織・市町村・都道府県調査の実施																
	活動組織追加調査																
	都道府県による中間評価の整理																
中間評価のとりまとめ																	
国	H27実施状況(概数値)・効果の評価																
	効果の評価、事業の仕組みの評価、課題等の整理																
	実施状況・自己評価の分析																
	効果モデルの事例調査等の実施																
	活動組織の地域類型区分調査の実施																
	推進組織・市町村・都道府県調査の実施																
	活動組織追加調査																
	都道府県による中間評価の整理																
	中間評価のとりまとめ																

# 1. 自己評価について

## 1 目的

- (1) 自己点検による活動内容の確認・改善
- (2) 活動による効果の発現状況の確認

## 2 実施主体

活動組織の代表者等

(市町村あるいは推進組織等が活動組織(広域活動組織を含む。以下、同じ。)に聞き取り、その結果を記入することを基本とします。但し、活動組織が自ら記入することも可能です)

## 3 評価の方法

以下の項目について、活動組織が、平成27年度の活動を振り返りながら、自己評価してください。評価結果は、評価様式の「活動組織記入欄」に記入してください。

### ■農地維持支払 (全ての組織が対象)

「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」の取組状況及び効果の発現状況について

- (1) 活動計画書に定めた「構造変化に対応した保全管理の目標」
- (2) 「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」の取組状況
- (3) 「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」の効果
- (4) 多面的機能支払交付金の活動に関するPRや今後の課題・展望

### ■資源向上支払 (取組をしている組織のみが対象)

「多面的機能の増進を図る活動」の取組内容及び効果の発現状況について

- (1) 活動計画書で定めた「多面的機能の増進を図る活動」の項目
- (2) 「多面的機能の増進を図る活動」の具体的な内容
- (3) 「多面的機能の増進を図る活動」の効果

## 4 評価結果の報告

活動組織が自ら記入した場合は、評価結果を市町村に提出してください。

## 2. 市町村評価について

### 1 目的

- (1) 活動組織（広域活動組織を含む。以下同じ。）の取組の成果と課題の明確化
- (2) 取組に課題のある活動組織に対し、必要な指導・助言の実施

### 2 実施主体

市町村

### 2 評価の方法

以下の項目について、活動組織による自己評価の結果を確認した上で、「市町村の判断基準のガイドライン」に基づき客観的に評価してください。その評価結果を、評価様式の「市町村記入欄」に記入してください。

#### ■農地維持支払

「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」の実施状況について

- (5) 活動組織が活動する地域の変化
- (6) 活動組織の活動の評価（「市町村の判断基準のガイドライン」参照）
- (7) 必要な指導・助言

#### ■資源向上支払

「多面的機能の増進を図る活動」の効果の発現状況について

- (4) 活動組織の活動の評価（「市町村の判断基準のガイドライン」参照）
- (5) 必要な指導・助言

### 3 評価結果の報告

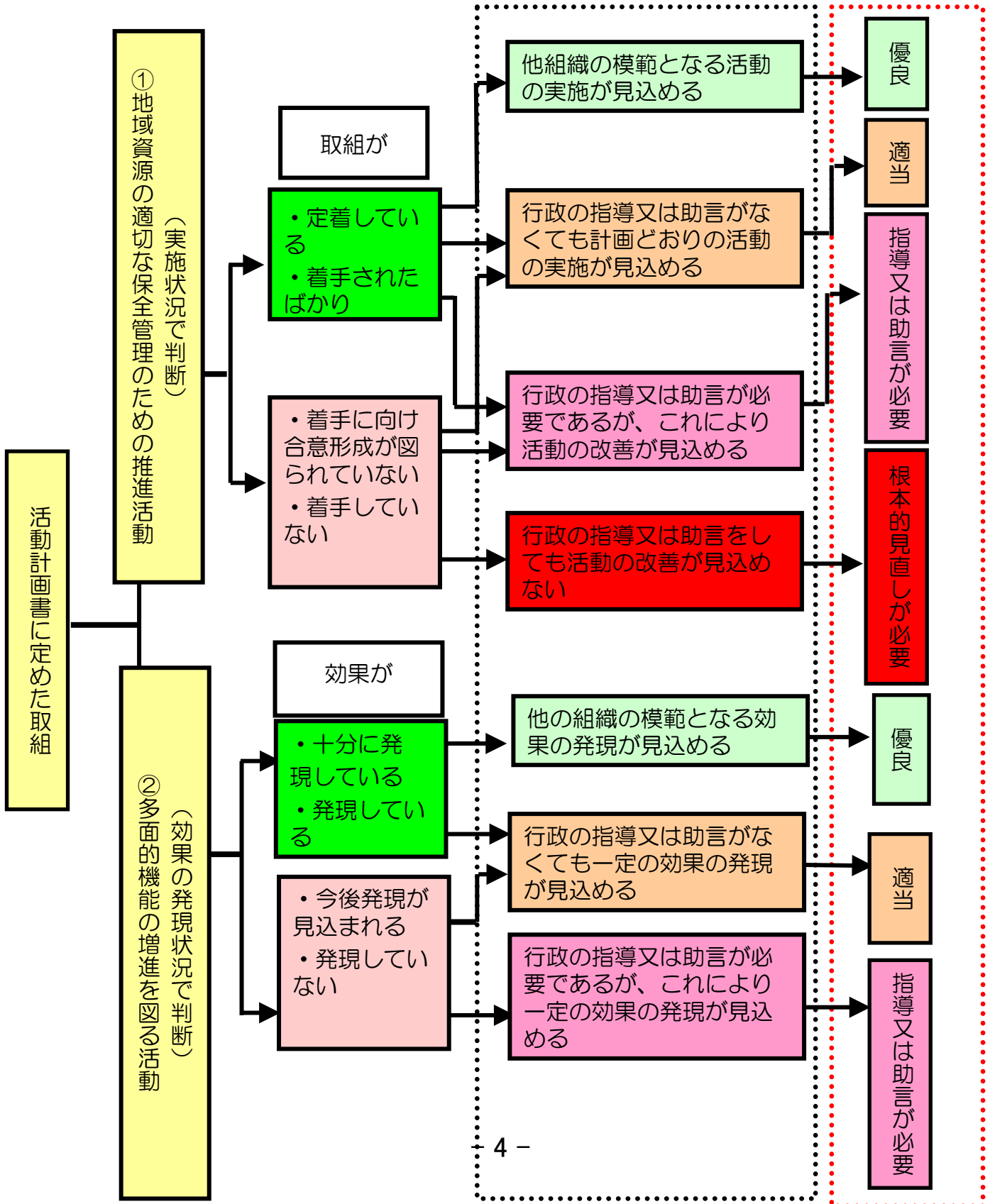
評価結果は、都道府県に提出してください。

# 市町村の判断基準のガイドライン

(H27年度取組状況)

(最終年度までの見通し)

(評価)



自己評価・市町村評価

(表面)

**<記入手順>**  
 ①都道府県名・市町村名・活動組織名を記入してください。  
 ②活動組織の皆様は、平成27年度までの活動を振り返り、表面のⅠ(1)～(4)に回答してください。  
 ③資源向上活動(共同)のうち、「多面的機能の増進を図る活動」に取り組んでいる活動組織の皆様は、平成27年度までの活動を振り返り、裏面のⅡ(1)～(3)にも回答してください。  
 ④市町村は、活動組織の回答を確認した上で、地域の状況や変化を客観的な視点で判断し、表面のⅠ(5)～(7)及び裏面のⅡ(4)～(5)に回答してください。(別添「市町村の判断基準のガイドライン」参照)

都道府県名：	滋賀県
市町村名：	
活動組織名：	

**Ⅰ 農地維持支払の「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」についておたずねします (全ての組織が対象)**

活動組織 (広域活動組織を含む) 記入欄 (自己評価)	市町村記入欄 (市町村評価)				
<p>(1) あなたの組織の活動計画書で「構造変化に対応した保全管理の目標」として定めたもの全てにチェック“■”を付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 地域内の中心経営体の育成・確保、農地集積を図り、中心経営体との役割分担や労力補充により保全管理を図る。【中心経営体型】</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 集落営農組織の構築・充実等を図り、集落を基礎とした農業生産体制の整備と合わせた地域ぐるみの保全管理を図る。【集落ぐるみ型】</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 地域外の農業生産法人や認定農業者等への農地集積を図り、地域外の経営体との協力・役割分担により保全管理を図る。【地域外経営体連携型】</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 広域的な農地利用の調整、近隣集落との連携、旧村や水系単位等での連携を図り、集落間の相互の労力補充や広域的な活動により保全管理を図る。【集落間・広域連携型】</li> <li><input type="checkbox"/> 5. 地域住民の参画、地域外の団体や都市住民等との連携を図り、地域外を含め多様な地域資源管理の担い手の確保により保全管理を図る。【多様な参画・連携型】</li> <li><input type="checkbox"/> 6. その他(活動計画書に記載している内容を以下の欄に記入してください。)</li> </ul> <p>(2) あなたの組織が、(1)の目標に即して活動計画書「Ⅲ活動の計画」に定めた「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」について、平成27年度までの取組状況に該当するもの全てにチェック“■”を付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 関係者間で地域の現状や目標を共有できた。(※「関係者」とは、(1)の目標に関係する者のこと)</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 目標に向けた課題を整理できた。</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 課題解決や保全管理の方法(体制や役割分担等)を検討した。</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 保全管理の体制強化の方針が決まった。</li> <li><input type="checkbox"/> 5. その他(具体的な内容を以下の欄に記入してください。)</li> </ul> <p>(3) あなたの組織が行った「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」によって、その活動を取り組まなかった場合と比べて、効果が現れている、又は現れることが見込まれるもの全てにチェック“■”を付けてください。</p> <p>(理解醸成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 地域農業の将来を考える農業者の増加。</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 農村の将来を考える地域住民の増加。</li> </ul> <p>(体制強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 3. 不在村地主との連絡体制の確保。</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 地域内外の担い手農家との連携体制の構築。</li> <li><input type="checkbox"/> 5. 隣接集落など他の集落との連携体制の構築。</li> <li><input type="checkbox"/> 6. 農地・水路等を保全管理する人材の確保。</li> </ul> <p>(担い手の負担軽減等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 7. 担い手農家や法人等の負担軽減。</li> <li><input type="checkbox"/> 8. その他(具体的な内容を以下の欄に記入してください。)</li> </ul> <p>(4) 平成27年度の1年間を振り返り、あなたの組織が取り組んだ活動に関するPRや今後の課題・展望など、以下の欄に簡単に記載してください。(「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」以外の活動も含めて記載してください。)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 活動のPR</td> <td style="width: 50%;">2. 今後の課題や展望など</td> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table> <p>(例) 保全管理の作業軽減のために、地域で畦のカバープランツに芝桜を植栽する活動を実施。芝桜が満開の時には、観光客が訪れ、地域の活性化につながっている。</p> <p>(例) 通い耕作者が多く、農地の集積が促進されていない。このため、通い耕作者と意見交換会を行い、農地集積と地域資源の保全管理の役割分担を行う。</p>	1. 活動のPR	2. 今後の課題や展望など			<p>(5) 多面的機能支払の取組開始以降で、当該活動組織が活動する地域の変化について、該当するもの全てにチェック“■”を付けてください。</p> <p>(地域資源)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 共同活動により地域資源が適切に保全管理され、遊休農地の発生が抑制されている。</li> </ul> <p>(人と農地)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 2. 人・農地プランを踏まえた具体的な取組が進められている。(※「具体的な取組」とは、例えば農地の流動化に関する話し合い等)</li> </ul> <p>(担い手)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 3. 農地中間管理機構の重点実施区域等に設定された。</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 担い手の確保が進んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> 5. 集落営農組織の法人化への検討がなされている、又は法人化された。</li> </ul> <p>(集積・集約)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 6. 担い手への農地利用集積や集約が進んでいる。</li> </ul> <p>(構造改革の後押しにつながるその他の変化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 7. その他(具体的な内容を以下の欄に記入してください。)</li> </ul> <p>(6) 当該活動組織の「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」について、市町村の評価を次の中から、該当するものにチェック“■”を付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 優良</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 適当</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 指導又は助言が必要</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 根本的見直しが必要</li> </ul> <p>(7) (6)で「指導又は助言が必要」又は「根本的見直しが必要」を選択した場合、市町村が行った、又は行う予定の指導や助言、見直しの指示について、該当するもの全てにチェック“■”を付けてください。また、チェックした項目について、具体的な指導・助言内容があれば記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 検討会・意向調査・現地調査等の充実</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 不在村地主との調整、それに必要な調査の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 非農家等(集落外も含む)多様な人材の参画推進</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 地域内の担い手・中心経営体等の育成・確保、連携強化</li> <li><input type="checkbox"/> 5. 集落営農の構築・充実等の促進</li> <li><input type="checkbox"/> 6. 地域外の農業生産法人・認定農業者等との連携強化</li> <li><input type="checkbox"/> 7. 近隣集落等との連携強化</li> <li><input type="checkbox"/> 8. 取組内容の再検討(変更)</li> <li><input type="checkbox"/> 9. 目標の再検討(変更)</li> <li><input type="checkbox"/> 10. その他</li> </ul> <p>11. 具体的な指導・助言内容</p>
1. 活動のPR	2. 今後の課題や展望など				

Ⅱ 資源向上支払の「多面的機能の増進を図る活動」についておたずねします (当該取組をしている組織のみが対象)

活動組織 (広域活動組織を含む) 記入欄 (自己評価)

市町村記入欄 (市町村評価)

(1) あなたの組織が活動計画書「Ⅲ活動の計画」で「多面的機能の増進を図る活動」として定めたもの全てにチェック“■”を付けてください。

- 1. 遊休農地の有効活用
- 2. 農地周りの共同活動の強化
- 3. 地域住民による直営施工
- 4. 防災・減災力の強化
- 5. 農村環境保全活動の幅広い展開 **※**
- 6. 医療・福祉との連携
- 7. 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化
- 8. その他

(2) 平成27年度の1年間を振り返り、あなたの組織が取り組んだ「多面的機能の増進を図る活動」に関する具体的な内容を、以下の欄に簡単に記載してください。

(具体的な取組内容)

[Empty text box for activity details]

(3) あなたの組織が行った「多面的機能の増進を図る活動」によって、その活動を取り組まなかった場合と比べて、効果が現れている、又は現れることが見込まれるもの全てにチェック“■”を付けてください。

(理解醸成)

- 1. 当該活動への参加者の増加、又は確保。
- 2. 周辺農家などの営農意欲の維持、又は向上。
- 3. 地域住民で整備・補修した施設を大事に使うという意識の向上。
- 4. 連絡網の整備や避難訓練など、地域住民の防災・減災に対する意識の向上。
- 5. 地域住民の農村環境(景観や水質、生態系、水源かん養、資源循環等)の保全への関心の向上。
- 6. 地域コミュニティの維持・発展に対する意識の向上。

(農村環境等の向上)

- 7. 地域内外からの営農者の確保や地域住民による活用などの遊休農地の有効活用。
- 8. 鳥獣被害の防止などの農地利用や地域環境の改善。
- 9. 地域住民の水路や農道等の知識や補修技術の向上。
- 10. 自然災害や二次災害による被害の抑制・防止。
- 11. 農村環境(景観や水質、生態系、水源かん養、資源循環等)の向上。
- 12. 高齢者や障害者等の活躍の場の提供。
- 13. 伝統農法・文化の復活や継承を通じた農村コミュニティの強化。
- 14. その他(具体的な内容を以下の欄に記入してください。)

[Empty text box for activity details]

**※ 資源向上支払(共同)活動を実施している場合は、上記(1)の「5. 農村環境保全活動の幅広い展開」に漏れなくチェックを入れていただくとともに、上記(2)および(3)の設問に回答下さいますようお願い致します。**

〔農村まるごと保全向上対策では資源向上支払(共同)活動を実施する場合、生態系保全および水質保全の実践活動に必ず取り組んでいただいていることから、多面的機能の増進を図る活動の「農村環境保全活動の幅広い展開」に該当します。〕

(4) 当該活動組織の「多面的機能の増進を図る活動」について、市町村の評価を次の中から、該当するものにチェック“■”を付けてください。

- 1. 優良
- 2. 適当
- 3. 指導又は助言が必要

(5) (4)で「指導又は助言が必要」を選択した場合、市町村が行った、又は行う予定の指導や助言について、該当するもの全てにチェック“■”を付けてください。また、チェックした項目について、具体的な指導・助言内容があれば記載してください。

- 1. 非農家等(集落外も含む)多様な人材の参画推進
- 2. 取組内容の充実、取組回数の増加
- 3. 有識者等の助言・連携強化
- 4. 活動内容の再検討(変更)
- 5. その他

6. 具体的な指導・助言内容

[Empty text box for guidance/assistance content]